

つばめ通信

6月に荻原宿で始まるアートの祭典「夜明けの家」の活動報告を月2~4回配信していきます。どうぞよろしくをお願いします。

藤田嗣治・木曾来訪107年記念パレード開催します！

明治45年(1912年)7月3日、藤田嗣治は友人・近藤浩と荻原駅に降りたつ。迎えに出たのは十三代湯川九郎右衛門。2人は米屋に投宿し、翌日は朝から鳥居峠に登る。3日間の荻原宿滞在中に住民との交流を楽しみ天井画や襖絵など4点を残した。翌年藤田は単身フランスへと渡り世界を股にかけて活躍する時代の寵児となってゆく。

しかし、藤田が荻原宿に滞在して作品を残した事を知る人は少ない。昨年は没後50年を記念して東京と京都を巡回し大々的に展覧会が開催されたがそのことに触れた形跡はないし、これまでに数多く出版された藤田に関する書籍や、今月発売された雑誌・別冊太陽の特集でも一切記述はない。

そんなことでいいのでしょうか？いいはずがないじゃないかー！
というわけで、私たちで盛り上げていきましょう！
昨年の没後50年というメモリアルイヤーをみすみす見逃した私たちにははや年数など関係ない。107年上等じゃないかー！

6月6日の朝一からオープニングイベントとして参加者全員で藤田に扮装して鳥居峠から荻原宿までパレードを行きましょう。

事前に扮装の小道具づくりなどのワークショップも開催しますので奮ってご参加ください。
地域の宝と一緒に語り継いでいきましょう。
詳細は追って連絡させていただきます。



アーティスト from 京都



京都在住のアーティスト彦坂敏昭氏と鬣恒太郎氏のお二方が木曾入りして数日滞在して展示のためのリサーチを開始。二人は島崎藤村の「夜明け前」をベースに作品プロジェクトを進めていて、6月の「夜明けの家」でお披露目となります。



小木曾のナルカリクラフトにお邪魔して草刈さんの圧倒的なパフォーマンスを堪能。



郷土史家の澤頭修自先生のお宅では木曾路の歴史を胸に染み入るほど聞いたのでした。

木曾ペインティングス Vol.3 夜明けの家 ～寝覚めに紡ぐ宿場町の夢

会期: 2019年6月6日～22日 芒種から夏至まで

会場: 木祖村 藪原宿 (大銭屋、大つたや、新大坂屋、南寿屋、江戸枝屋)

お問い合わせ

発行 木曾ペインティングス・代表 岩熊力也 〒399-6101 木曾郡木曾町日義 4898-522

Mail : kisopaintings@gmail.com